



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

コロナ禍・東京五輪、パラリンピック最中に大雨続く — 2年前を上回る 県内各地で被害 —

九州北部はコロナ禍と東京オリンピック・パラリンピック最中の8月11日から大雨が降り続き、お盆前後は特にひどく嬉野市、佐賀市で年間雨量の半年分1,000ミリ超が観測され、県内各地で河川の氾濫、土砂崩れの被害が発生しました。

特に六角川流域では排水ポンプの停止が余儀なくされ、武雄市、大町町、白石町で内水氾濫が発生しました。同流域には9平方キロ、深さ最大3mにも及びました。今回の聴覚障害者、情報支援者の被害は武雄市で床上浸水2件、唐津市肥前町では土砂崩れで小屋の損壊が確認されています。2年前の豪雨以上の県全体に浸水がみられました。

○浸水被害

武雄市 1,663 件 大町町 260 件
白石町 523 件 佐賀市 346 件



○土砂崩れ被害（家屋）

神崎市三谷地区 みやき町山田地区



○長崎自動車道（通行止め）

金立サービスエリアで法面崩壊



六角川最大の武雄市高橋排水機場（50 m³/s）

六角川の堤防決壊などを防ぐためポンプ7か所の運転と停止をくり返し、約9時間停止され内水氾濫が発生しました。

安否確認システム発動



今回の大雨に際して8月14日10時にサポートセンター独自の安否確認システムを発動しました。重大な被害やケガ等の返信はありませんでした。

8月11日から17日までの総雨量

市 町	総雨量 A(ミリ)	年降水量 B(ミリ)	A/B (%)
嬉 野	1170.5	2323.7	50.4
鳥 栖	1012.5	2332.9	43.4
佐賀市駅前	1002.0	1951.3	51.4
白 石	876.0	1822.8	48.1
佐賀市北山	873.5	2576.8	33.9
伊万里	818.0	2221.8	36.8
佐賀空港	712.5	1714.4	41.6
唐 津	659.5	1979.3	33.3

新型コロナウイルス対策 佐賀県

8月27日～9月12日 まん延防止等重点措置適用
唐津市を対象区域に指定

唐津市からお願い

※飲食店は20時まで ※酒類の提供自粛 ※大規模集客施設も20時まで

- ・不要不急の外出・移動の自粛
- ・外出が必要な場合は少人数で、混雑している場所や時間を避ける
- ・路上・公園等で集団での飲食、感染リスクが高い行動はしない
- ・職場での感染拡大防止への協力



シリーズ (44) 山口相談医のひと言コメント

耳垢と外耳道真珠腫について



さて、耳垢は通常なら自然排出されて、耳の中はクリアに保たれるようになっていますが、その排出がうまくいかなくなると、溜まってしまって、耳の穴を塞ぐようになります。それが原因とまでは言えませんが、耳垢と似たような形で外耳道の皮膚が剥がれ落ちたものでできる病気に**外耳道真珠腫**というものがあります。

「真珠腫」というと、中耳にできるものがありますが、この「外耳道真珠腫」はその名の通り、「外耳道」にできるものです。これには普通の耳垢との大きな違いがあります。それは、普通の耳垢は単純に溜まって、耳の穴を塞いでしまうだけですが（時々炎症を起こして痛くなったりもしますが）、「外耳道真珠腫」はそれだけではなく、外耳道の皮膚や周囲の骨までも破壊して大きくなる点です。中耳真珠腫と違って、鼓膜やその奥の中耳構造を破壊することはまずありませんが、**外耳道に大きな欠損**を生じ、耳漏や痛みを生じることもあります。

ひどくなると手術をして、溜まった耳垢＝角化堆積物を除去して破壊された骨などを整えることになります。

そこまでひどくない場合は、溜まった耳垢＝角化堆積物を除去して骨の損傷が進行しないようにすることで対応できます。

耳垢といえども放置するのは考えものです。

● インターンシップ来館

佐賀北高生1名が8月18日午前中、センター業務についてレクチャーを受けました。予定されていた大学生は福岡県が緊急事態に指定されたので受け入れがなくなりました。

● 聴こえのセミナー ▶ 予約制

10月3日(日)13時～14時半 商工ビル7階 大会議室

「より良い聞こえをお求めの方に」補聴援助システムと補聴器

● 巡回聞こえの相談 ▶ 予約制

9月22日(水)10時～15時 久保田公民館

10月20日(水)10時～15時 唐津市相知市民センター

11月24日(水)10時～15時 白石町役場

編集後記：9月になりました。災害への備えを怠らないようにしたいです。㊦

初の「聴覚障害者くらしのニーズ」調査 シリーズ<4> 就業・職場での困りごと

～聞こえないことに起因する意思疎通・コミュニケーションがとれないことからの課題へ対応が求められる～

佐賀県内の2021年度の最低賃金が時給29円引き上げられ821円となり、3年ぶりに全国最下位を脱出しました。首都圏の東京都とは220円、福岡とは49円の格差があります。(8月10日審議会答申)

聴覚障害者の生活の基盤となる仕事や収入についての調査結果です。就業しているのは全回答者165名の48.5%、男性47名、女性33名、計80名です。

常勤が61名(76.3%)、年代別では40歳以下30名、50歳代19名、60歳代22名、70歳以上9名となっています。

全回答者165名の障害基礎年金を含めた1年間の収入は60万円～120万円75名が最も多く45.5%、次いで120万円～200万円以下45名、280万円以上21名、200万円～280万円15名となっています。

就業者の職場で困ることは、①コミュニケーションがとれない32名(43.8%)、②手話のできる人がいない28名(38.3%)、③給料が安い21名(28.8%)、④人間関係14名(19.2%)、⑤昇任・昇格がない14名(19.2%)、⑥仕様書・指示書が読めない7名(9.6%)となっています。

職場に手話ができる人がおらずコミュニケーションができないことが最大の困りごとになっています。障害者差別解消法がこの5月に合理的配慮は企業にとっても義務であると改正されましたので、手話のできる社員の養成を望みます。



◆ 日曜教室 (ろう者向け)

9月12日(日) 佐賀県総合福祉センター

10:00～12:00 冠婚葬祭のマナー

13:00～15:00 大阪⇄北海道大型トラック・トレーラー

30年の人生(ろう者でもやればできる魂)



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始